

コミ協だより

第7号

み な と

発行日 平成 25年 2月 5日
発行 湊校区コミュニティ協議会
総務部会 編集委員会



“さあ！一日の始まり”

湊校区内の高齢化率は、中央区内でも五本の指に入っています。友愛訪問事業

町内会長さんか民生児童委員に連絡下さい。又該当しないが情報キットがぜひ欲しいと云う人は、若干の余裕がありますので申し出て下さい。

おせち料理は、毎年心待ちにしている方も多数おられ、年末の三十日に、シルバーホテル製のおせちを百五十四食を配布して、大変喜んで頂きました。来年度には、新潟市地域活動補助金を利用して、地域見守り安全マップの製作に取りかかりたいと思っております。

昨年度実施し好評だった情報キットの配布を、年齢を五才下

げて、六十五才以上のひとり暮らしの方及び七十才以上の高齢者世帯として、民生児童委員を通じて配布を致しました。まだ該当者で配布されていない方がおられましたら、

らして、六十五才以上のひとり暮らしの方及び七十才以上の高齢者世帯として、民生児童委員を通じて配布を致しました。まだ該当者で配布されていない方がおられましたら、

高齢者世帯の 安心安全事業

緊急医療情報キット

好評により年齢を 下げ追加配布します。

厚生部会長 三條 澄

を通じてひとり暮らしの方や、高齢者世帯の見守り安否確認の必要性が増大しております。町内、自治会長さんの協力のお陰で、十八町内、自治会に友愛訪問事業が拡がって、百六十名前後の方の安否確認を、月一回第二水曜日にヤクルト等を配布して、実施しております。今後も全町内、自治会の参加を目指して努力していきたいと思っております。



“ボクたちも主役！”

文教部会では、地域の皆様に見て楽しんで、参加して食べて楽しんで頂くことを目的に、年末附近に「マジックショー&もちつき大会」を開催してきました。平成24年は、12月9日（日）に、二葉コミハウスにて開催いたしました。当日は12月上旬には珍しく、雪の朝となり

文教部会

面白かった、美味しかった 定着した「マジックショー&もちつき大会」

文教部会 大野 義彰



“子どものタメなら…”

ましたが、湊小の生徒さんを中心としたお子様40名、地域、PTAの方々約50名の参加で11時過ぎに賑やかに開会いたしました。最初はクロスワードで活動している「マジックワールド」の皆さんによる「マジックショー」です。お子様との掛け合い、又ネタバラシなど、例に

よって楽しい、ご愛嬌！のマジックショーでした。続いて「もちつき大会」です。キネの重さに子供達はびっくり！突き手を交代しながらの餅もつき上り、ベテランボランティアさんの鮮やか手捌きで、「あんこときなこ餅」に変身。突きたてのおいしさにお代わり続出。お腹一杯になって1時過ぎに無事終了。今回で3回目となりますが、初めて日曜日に開催、PTAの方には好評だったようです。とはいえ開式直前まで、集って貰えるか、心配しているのが現状です。回覧板や学校にも周知方お願いしておりますが、お気軽に声を掛け合って遊びに来て下さい。

年度内には、「男の料理教室」の開催も予定しています。ご案内いたしますので、その際はふるってご参加下さい。

男の料理教室

2月16日（土）に決定

生活環境部会

守りたい、地域の環境

ガンバッテます、生活環境部会
一層のご理解とご協力を。

生活環境部会 佐々木 猛

当部会の平成二十五年度、活動主体事業計画は、曙公園の清掃事業として継続、実施いたします。各町内会、自治会の担当、任務の日程は次の通りであります。四月は東堀通、東堀前通十、十一番町自治会、六月は東堀十三番町町内会、八月は古町通十二番町、第二町内会、十月は西堀十一町内会。

又、年一回実施の担当各町内会、自治会総出の清掃事業として竹内式部墓地は五月、日和山、住吉神社は九月に予定しております。何卒、地域の環境整備に、旧を倍しての御協力、御支援の程をお願いいたします。

一葉・舟栄中学校校区統合案

最終段階へ

すでに新聞報道や地域検討会発行のたより等で、統合についての情報はもっていることと思えますが、もう一度これまでの検討会の経緯と、今後の検討事項をまとめてみました。

現在では、中学校の新しい校名の候補も決まり、26年度の開校に向けて、準備が一歩進んだといえるでしょう。

また、小学校に関しては、校舎の位置が確定し、次の段階へと検討内容が移ります。

◇二葉中学校・舟栄中学校の統合について

これまでに、「両校区地域検討会」を立ち上げ、計6回。その後、「両校区統合実行委員会」へ検討を委ねて3回の合会をもちました。

地域検討会では、最初に地域

や保護者の考えを基に、地域の子供たちの教育環境を改善するための方法として、「二つの中学校の統合」を前提に案をまとめていくことを確認してスタートしました。

4小学校区とPTAの代表の方々からは、統合については前向きな発言が主流で、早めの決定を望む声が多く聞かれました。

① 統合の方法は？
具体的な検討事項としては、

② 使用する校舎は？

③ 校名は？

④ 統合の時期は？ です。

その後、中学生の意見を聞いたり地域住民への報告会などを開催し、多くの意見を集約することに努めました。

4回の検討会を経て、おおよ

その意見が出されたことから、統合検討委員会の正副会長、4小学校PTA会長からなる作業部会に、残された課題の原案作成を委託し、その結果を検討会で協議し最終的に次のように確認をしました。

二葉中学校と舟栄中学校を

平成26年4月をめどに

2つの中学校を統合する

・統合後は舟栄中学校の校舎を使用する

・統合の方法は合併とする

このことを基に、4小学校区の各コミュニティ協議会長あてに地域検討会から、4つの要件を提言しました。

この提言をふまえ、5月29日

に市役所において、市長と市教

育長に対して、次のような「要

望書」として提出をしました。

要望事項

1 二葉中学校と舟栄中学校の

統合時期は平成26年4月とする

2 二葉中学校、舟栄中学校は

閉校し、統合後の中学校につ

いては、両校の伝統の上に立った新たな学校を開校すること。

3 統合後の校舎は現在の舟栄中学校を使用すること。

4 統合に当たっては、学校間の交流活動を計画的に行うなどして生徒への負担軽減に努めるとともに、保護者や地域に対し十分な情報の提供を行うこと。

この後、統合実行委員会を立ち上げ、この委員会を中心にそれぞれの中学校の開校や、新しい中学校の開校に関わる行事等について話し合っていきます。

具体的には、校名、開校記念碑や記念誌の作成、また閉校記念誌の作成等が考えられます。

校名を公募に候補を決定

校名は公募とし、その中から

・新しい中学校の未来に夢と希

望を抱くような校名

・両校区の地域の環境や特徴などを表すような校名

・両校の歴史と伝統を受け継ぐにふさわしい校名

という選考基準に照らして選考することとしました。

校名を公募したところ、千百余りの案が集まりました。

この校名検討委員会に、両中学校から4名の生徒代表が協議に参加しました。4人はそれぞれ協議の内容について深い関心をもって臨んでいました。また地域の方の熱心な討議に、感謝の気持ちを表していたことが印象的でした。

この委員会での第1回の検討委員会で8案に絞られた校名を、第2回で再度協議し、次の2案が最終候補に残りました。

新潟柳都中学校 みなと 新潟水都中学校

この2つには、先の選考基準を満たす根拠が感じられるというのが大きき理由でした。

今後、教育委員会に対して、このどちらかの校名の採用を求める要望書を提出し決定へといく予定です。

小学校統合校舎は栄小に

中学校の地域検討会が一段落し、名称を二葉中学校・舟栄中学校区内小学校地域検討会と変更し、4小学校の教育環境改善策を協議して、中学校の協議の時と同様に地域への提言をまとめます。その第1回目は8月22日に行いました。

各校のPTA会長からの報告では、概ね統合には前向きな姿勢でした。

各小学校ごとにそれぞれの事情があるだろうが、「将来的に4校を統合する」方向で協議を進めることで一致しました。

これを受けて、4校のそれぞれについて、統合校となった場合を想定して検討を加えました。

それは、児童数、学級数、施設の状態、経費、期間、統合の方法のシミュレーションについてです。(10月30日)

その中で一番のポイントは、場所ではないかとの意見から、各校の長短を検討しました。

統合校の候補地として、栄小

学校、入舟小学校を軸に保護者や地域の意見を聞いていくこととなりました。

また、4小学校視察会(バスツアー)を開催し、各校の実情を確認しました。(11月10日)

その上で11月28日の第4回目の地域検討会で、現在の栄小学校を改築して、4小学校の統合校舎を第一案に決めました。

経費や期間では入舟小学校が条件はいいが、栄小学校は高台にあり津波が来ても安心と防災面からと、舟栄中学校と隣接している、小中の連携や交流がしやすいなどの利点があるという

理由が多くあったからです。

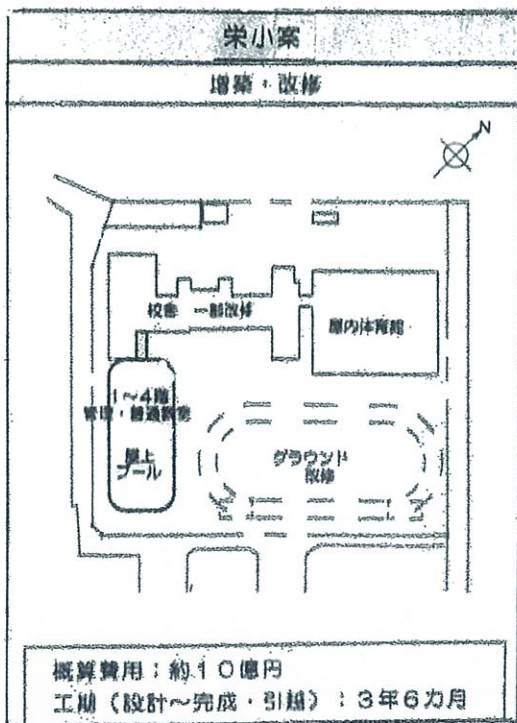
地域検討会に参加しての感想

・「しもまち」を想う気持ち、そこに育つ子供たちへの幸せを願う地域の人たちの想いが、決定への大きな原動力となっていたのではなからうか。

・子供たちにとって安心・安全な学校。みんな仲良く、楽しく過ごせる学校。親も教師も地域住民も一人ひとりに目配りのできる学校づくりをめざし、今後とも取り組んでいきたいと思っています。

(12月末日現在の情勢報告)

統合校舎シミュレーション



防災安全部会

忘れた頃に参加して…

赤十字奉仕団 佐嶋 清治

11月24日(土)、防災安全部会では湊地区赤十字奉仕団及び湊校区防火婦人部との共催で「応急手当研修会」を実施しました。

講師として日赤県支部より、石田日登美氏、補助として四名の方にお越しいただきました。当日は三連休の中日であったことから参加者は三十名程で、予定した人数を若干下回りましたが、二時間の研修は身近な問題として有意義な研修となりました。

研修内容については、三角巾を用いた傷及び骨折の手当法等は、繰り返すことで身に付くものだと改めて感じました。災害は何時あるか分かりませんが、研修を受ける度に初心に帰れることが研修を受講した大きな意義でありました。

なお、日赤では、この種「救急法」に限らない救急法や、幼

児安全法、健康生活支援講習、水上安全法、雪上安全法等々の講習会を実施しているのとこの。

防災安全部会では今後も目的に応じた研修を日赤のお力を借りながら計画して参ります。この度の研修は、身近にある物を利用した手当法です。初めに、三角巾の結び方・畳



“うまくできた?”

み方を学びました。次に身近にある風呂敷を活用し、火災発生時における煙を吸わないためのマスク変わりや、負傷の際の三角巾変わり、そして防災頭巾にできる巻き方を教わることできました。

また、腕の骨折した時には、骨折箇所を古新聞で固定するこ

とや、レジ袋を利用して腕を吊ることも教わることできました。

防災安全部会では、日常における地域の防災意識の継続性をめざし、各団体の協力を得ながらこの種研修会を実施して参ります。

湊コミ協担当市職員が交代しました。

これまで二年間、担当された伊藤義則氏が転勤により、新たに佐藤仁宏氏が担当となりました。前任の伊藤氏同様、中央公民館の事業係を担当され、就任早々私たちコミ協活動にも積極的にお手伝いし、支えていただいております。

はじめまして

湊校区担当 中央公民館 佐藤 仁宏

湊校区コミュニティ協議会の担当をしている中央公民館の佐藤です。

四月の異動により公民館に配



属となり、まだ至らぬ点多々ありますが、まずは地域のみなさんから顔を覚えていただくことを目標に頑張っています。地域のみなさんと出会い、ともに取組み、またそのお手伝いをしながら公民館のことを知っていただけるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願ひします。

おめでとう10周年

ありがとう 二葉コミハウス

二葉コミハウスが開館10年を経過いたしました。

私たち湊コミ協が発足したのが平成18年、今、考えると、この施設が無かったら現在のコミ協は育たなかっただろう、と思うほど、近くにあることの有難さを強く感じております。

いつもハウスへ行くと、明るく弾んだ声が聞こえ、また表情からも笑顔が絶えない若々しい振る舞いを見ると、自然と笑みもこぼれ、溶け込んでゆけることは素晴らしいことです。

コミ協の行事や会議の拠点として利用できますことに大変喜んでおります。

地域の方々に、もっとももっと利用していただくことで、それが反映し、コミ協活動も一層中のあるものとなると思います。

コミハウスが地域みんなの茶の間として活用されれば最高です。



“春の息吹き、すぐそこに…”

湊校区コミュニティ協議会 構成団体

- 湊校区自治町内会
- 湊地区民生児童委員協議会
- 湊地区社会福祉協議会
- 湊校区防犯協会
- 湊校区防火連合会
- 湊校区赤十字奉仕団
- 湊校区交通安全推進協議会
- 湊小学校PTA
- 湊校区スポーツ振興会
- 湊校区公園愛護会
- 湊地区婦人会
- ワークセンター日和山
- 二葉コミュニティハウス

あとがき

本紙を校正中にニュースが入りました。

23日に開かれた市教育委員会の定例会で、二葉中・舟栄中の両校検討委員会から提案された「新潟柳都中」「新潟水都中」の2案で、

「新潟柳都中」に決まり。

2月の市議会で正式決定されることとなりました。

長年親しまれた名称が消えることは一抹の寂しさがありますが、経済発展のため、と意思を変え支援してゆきたいと思えます。

学校統合問題は今後も続きます。
・ 中学校の閉・開校式等
・ 小学校の統合校舎及び校名の決定や閉・開校式等々
数多くの会合があることからコミ協では左記の皆さまから地域を代表し出席していただくこととなりました。

学校統合問題検討会 4校地域検討会 湊コミ協代表メンバー

1. 新小学校問題検討会

- ・ 湊コミ協から

会長	長谷川守英	様
副会長	阿部一之	様
- ・ 教育関係等から

湊小学校同窓会会長	野村幸雄	様
副会長	大野義彰	様
湊地区民生児童委員協議会主任児童委員	佐々木 猛	様
湊小学校PTA役員		

2. 中学校統合実行委員会

- ・ 湊コミ協から2名の指定

会長	長谷川守英	様
副会長	阿部一之	様

3. 平成25年度からの中学校開校実行委員会

- ・ 湊コミ協から

会長	長谷川守英	様
副会長	阿部一之	様
- ・ 教育関係等から

二葉中学校PTA役員	星 道夫	様
------------	------	---

4. 平成25年度からの二葉中学校閉校実行委員会

- ・ 湊コミ協から

副会長	阿部一之	様
厚生部会長	阿部三條	澄
- ・ 教育関係等から

同窓会幹事	大野義彰	様
二葉中学校PTA役員	渋谷隆司	様